

## 議会改革委員会

(◎)鈴木 英治、○熊澤 一敏、高野 達夫、稲垣美佐代、小沢 国大、  
稲垣 衿子、船橋 厚、澤田 勝巳)

7月4日(水) 京都府亀岡市

## 「議会改革・議会活性化」の取組

## 子ども議会等、市民の意見の反映

亀岡市議会では、議会改革・議会活性化へのテーマについて、毎年試行錯誤を繰り返しながら議会と市民や子ども達との意見交換を行うことにより市民との距離を縮めてきました。その施策として「女性議会」「子ども議会」「土曜議会」「わがまちトーク」「議会フェイスブック」等がありました。

「子ども議会」では、子ども達より「歩道部分が狭く、側溝のグレーチング蓋の隙間に障がい者の方の車いすのタイヤがはまり通行しづらい。」との発言があり、議会から早急に改善をはかるよう理事者に申し入れ、次年度には改善が図られたとのことでした。

また「わがまちトーク」では自治会や各種団体とテーマを決め、市民ニーズについてなど話し合いを行うことにより、より深く意見交換ができました。



7月5日(木) 広島県呉市

## 「議会改革」の取組

## 市民に開かれた議会の推進

呉市議会では、議会基本条例にて開かれた議会を目指し、平成26年度から議員の個人行政視察を、平成27年度から委員会行政視察を、平成28年度から議員が報告した視察内容を議会ホームページにて掲載を始めました。なお、「視察内容」「質疑応答」「3市での展開の可能性」といった掲載内容を統一した項目としたことにより、閲覧する市民の方にも議会・議員が何をしているのか分かりやすくなったとのことでした。

また議会として政策研究会を立ち上げ、メンバーは、各会派より代表1名で構成、各会派の意見を集約して政策提言を行ったり、議会報告会の企画・検証を受け持ちました。企画の1つとして、18歳の選挙権について高校での議会報告会開催を行い、この取組により議会の活動がスムーズになったとのことでした。

